

機械科学専攻	研究分野	熱機関	Lab. ID ME06
研究室Webサイト			
研究課題の概要			
<p>本研究室では、2つのグループで構成され、それぞれ次の研究を進めています。</p> <p>燃焼:熱から動力を取り出す(変換する)機関および熱を発生させる仕組み(燃焼現象)に関する研究を行っています。例えば、「木質バイオマスによる火花点火機関の実用化」、「微小液滴燃料の燃焼挙動の解明」など、エネルギー・環境問題解決への貢献を目指しています。</p> <p>伝熱:固体・液体の相変化現象を対象とした研究を主に行っています。例えば「氷凝固における結晶状態の制御」、「氷結晶制御を利用した凍結濃縮効率の向上」などについて、実験、解析双方からのアプローチを行っています。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>初めに教員との面談の上、指導教員、および、研究テーマを設定します。研究室全体、または、両グループごとで進捗報告や文献輪講を定期的に行います。このことにより、年1回以上の学会発表ができる研究成果とその能力を具えること目指します。</p> <p>加えて、不定期になりますが、研究室で工場見学、学会の講習会、講演会、学会発表の聴講などに参加します。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>研究室での生活について特に制約を設けていません。学生の自治に任せています。(教員)</p> <p>イベントとしての飲み会はもちろんの事、自炊したり、それが鍋パーティになったりと楽しくやっています。(M2)</p> <p>思ったより、快適に過ごしています(B4)</p>			
教員からのメッセージ			
<p>装置の実用化に向けた応用的なものから基礎的な研究まで、実験と解析など比較的幅広い研究を行っています。</p> <p>そのため、テーマによっては、学生が主体的な研究(自分で研究の目的や手段・方法を設定すること)の遂行が難しい場合があります。その場合は、マイルストーンをハロンストーン、ヤードストーンとする、つまり、それぞれの状況に合わせた目標設定が必要です。その為には教員・学生間や学生間同士のコミュニケーションを大事にしています。また、コミュニケーションによって研究の楽しさを伝えることができると考えています。</p>			
研究室連絡先メールアドレス		榎本 啓士 <eno *at* se.kanazawa-u.ac.jp>	